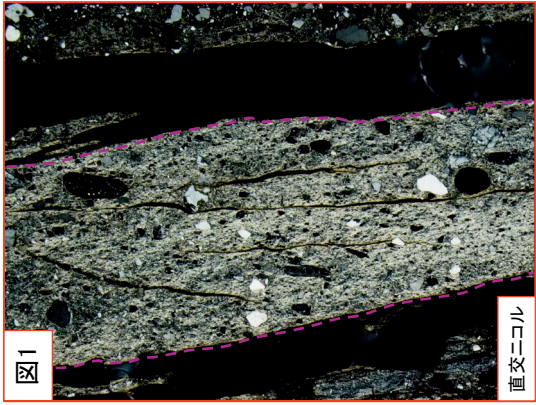
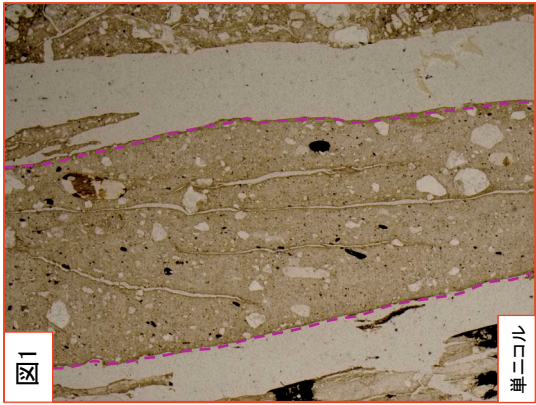
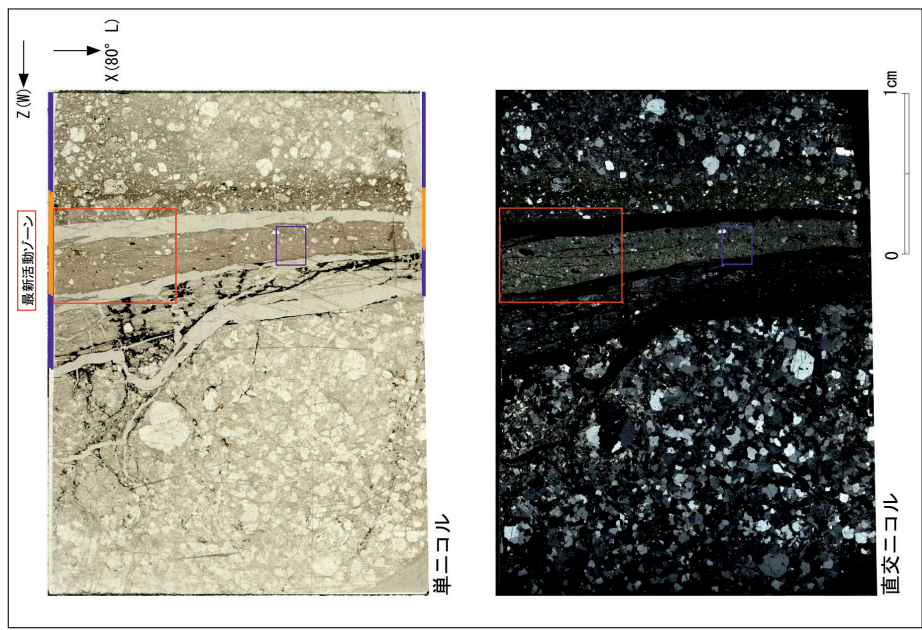
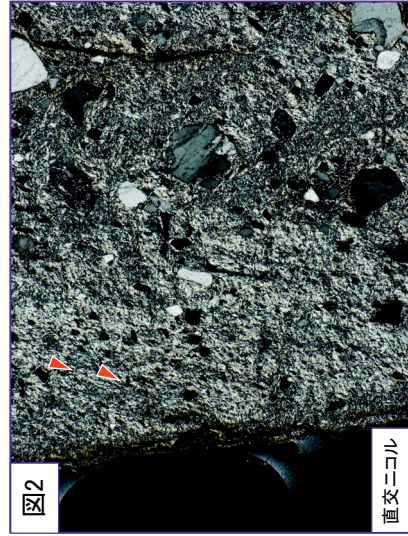
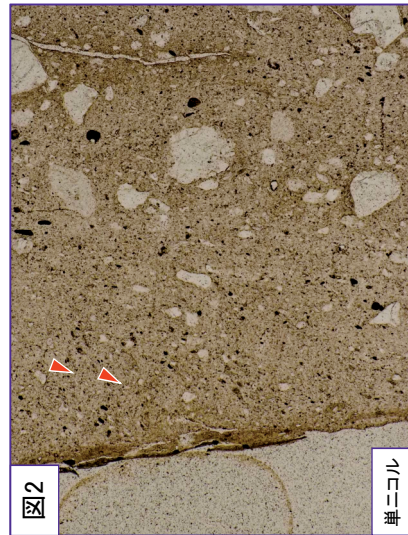


- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。(図2)
- 基質は粘土鉱物を主体とする。(図2)
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)
- 岩片は少ない。(図2)
- 丸みを帯びている岩片が多い。(図2)



破線は帯状で直線的な粘土状部の範囲を示す



赤三角の方向は粘土鉱物の配列方向を示す

(肉眼観察結果 深度47.47m)

- 肉眼観察では、粘土状部は、軟質で、細粒部の連続性及び直線性が良く、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。これらのことから断層ガウジであると判断した。

(観察位置)

- 薄片試料は、肉眼観察により認定した断層面 $\beta$ に沿って最も細粒化した部分を含み、人為的な試料の乱れの無い部分で作製した。

※断層面 $\beta$ は最新活動面

(薄片観察結果)

- 薄片観察では、以下の通り断層ガウジの特徴が認められた。
  - せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。
  - 基質は粘土鉱物を主体とする。
  - 粘土状部の分布は帯状で直線的である。
  - 岩片は少ない。
  - 丸みを帯びている岩片が多い。

- 薄片観察では、カタクレーサイトの特徴が認められなかった。

以上より、薄片観察結果では、最新活動ゾーンの細粒部を断層ガウジであると判断した。



(総合評価)

当該破砕部については、以下の理由から断層ガウジであると評価した。

- 肉眼観察で確認された粘土状部は、その特徴から断層ガウジであると判断した。
- 薄片観察で確認された最新活動ゾーンの細粒部は、その特徴から断層ガウジであると判断した。

断層ガウジ・断層角礫の有無	断層ガウジ・断層角礫の幅[cm] *	明瞭なせん断構造・変形構造 *
有	0.6	有

\*: 断層岩区分の総合評価で断層ガウジ・断層角礫の有無が「有」の場合は肉眼観察結果を記載。  
断層岩区分の総合評価で断層ガウジ・断層角礫の有無が「無」の場合は「-」と記載して括弧内に肉眼観察結果を記載。

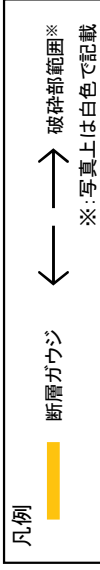
・深度26.00～26.01mの「幅5～8mm程度の「幅5～8mm程度の「幅5～8mm程度のにぶい黄橙色粘土と幅1mm程度の褐色粘土」と記載の箇所については、粘土は軟質で、連続性が良く、一部を除き、直線性も良く、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。これらのことから断層ガウジであると判断した。

・深度26.01～26.20mの「粘土混じり礫状」と記載の箇所については、やや軟質であるが、含まれる細粒部は局所的に分布し、連続性及び直線性に乏しく、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められる。これらのことから変質した力タクレーサイトであると判断した。

#### ボーリング柱状図

- 26.00～26.20m：破砕部
- 26.00～26.01m：傾斜55°，幅5～8mm程度のにぶい黄橙色粘土と幅1mm程度の褐色粘土を挟む(Hc-1)。軟質。一部を除き直線的である。
- 26.01～26.20m：にぶい黄橙色を呈する粘土混じり礫状部(Hj)。原岩組織は一部残留し、やや軟質。

#### コア写真



連続性が良く、一部を除き、直線性も良い



青枠部拡大



・薄片は断層面  $\alpha$  及び細粒化が進んだ範囲を含むように作製した。

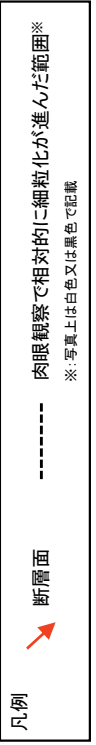
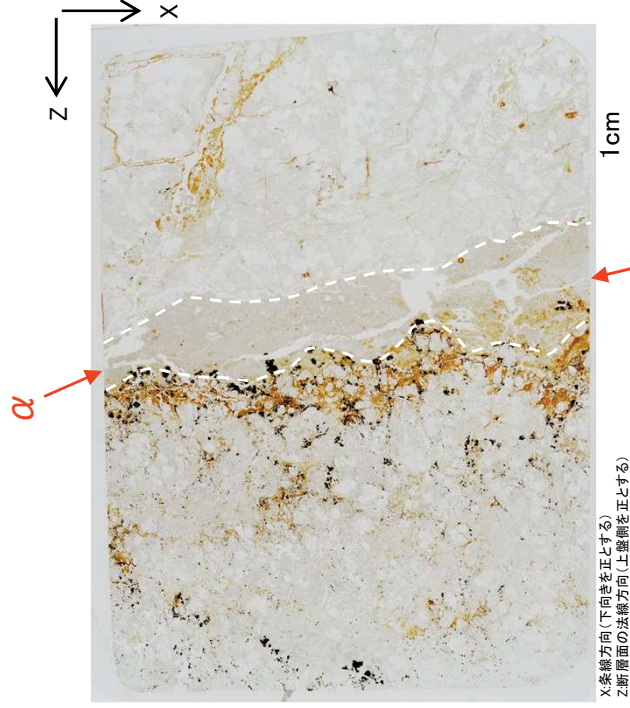
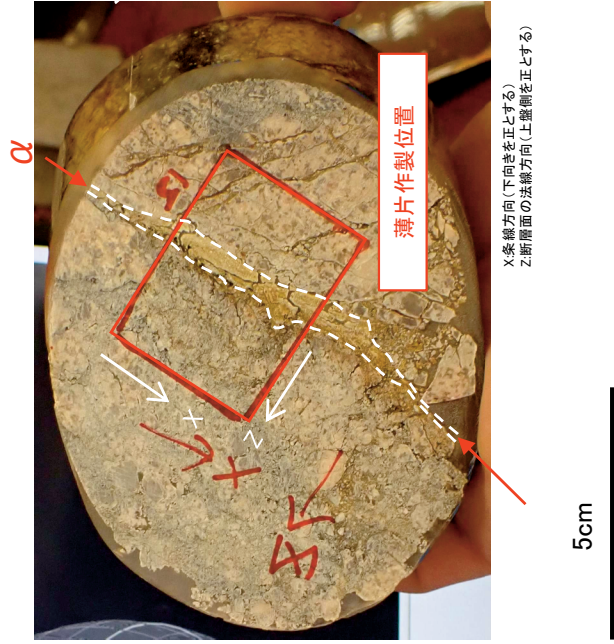
コア写真

※断層面  $\alpha$  は最新活動面



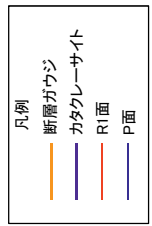
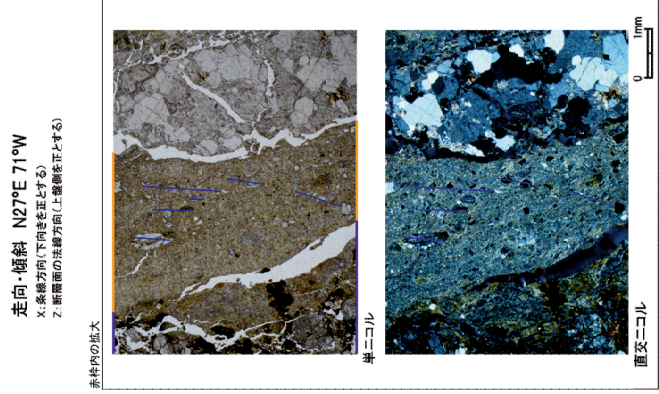
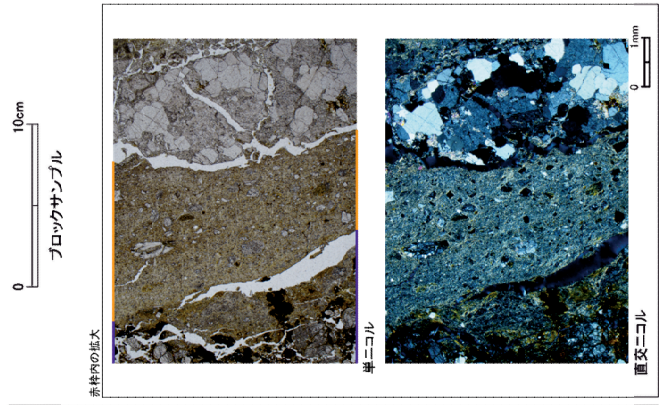
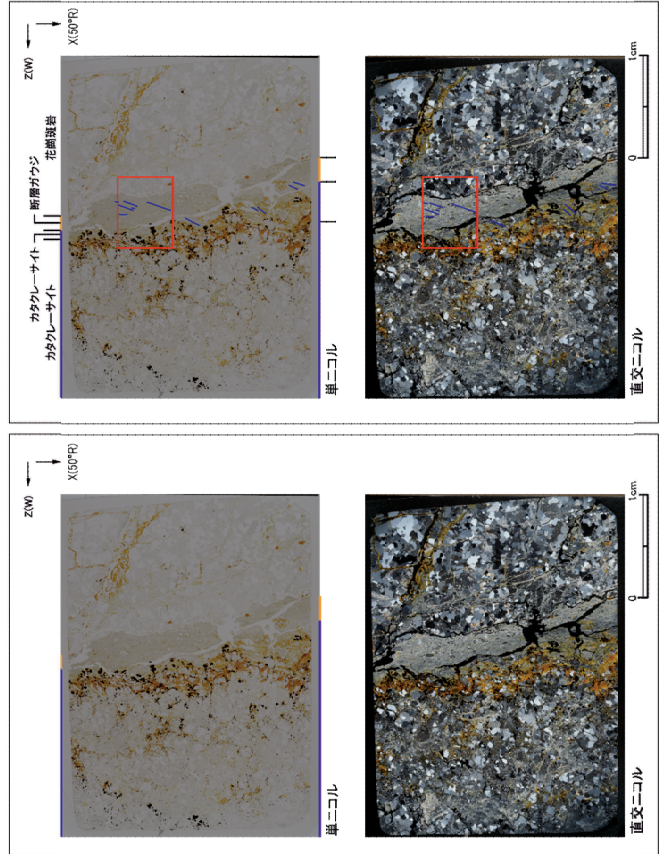
薄片作製位置写真

薄片全景写真(単ニコル)



- ・H29-ReB14-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動ゾーンの変位センスは、左ずれを伴う正断層である。
- ・最新活動ゾーンに以下の特徴が認められることから、断層ガウジと判断した。
  - (断層ガウジ) 基質は粘土鉱物を主体とする。
  - (断層ガウジ) 粘土状部の分布は帯状である。
  - せん断構造に伴う岩片の定向配列が認められる。
  - 岩片は少ない。
  - (断層ガウジ) 丸みを帯びている岩片が多い。

※断層面  $\alpha$  は最新活動面



第7.4.4.349図 (3) 破碎部性状 H29-ReB14-2 深度26.00~26.20m (変位センス, 薄片観察による断層岩区分(1/2))